

高知県には本種の他に、ミナミテナガエビ，ヒラテテナガエビ，コンジテンテナガエビが生息していますが，本種がもっとも普通に見られるエビです．コンジテンテナガエビは南方系の種で，おもに鹿児島県以南に生息し，本県では情報不足とされています．



2004年8月3日西灘で
採集されたテナガエビの雄。

雄のハサミ脚は長大ですが，雌のハサミ脚は大きくなりません．高知県では「手長川エ



2004年8月3日西灘で採集
されたテナガエビの雌。

ビ」と呼ばれることがあります．全国的には「杖突きエビ」という呼称があります．雄のテナガエビがゆっくりゆっくりとハサミ脚を動かし，さも面倒くさそうに餌を口に運ぶようすは，なかなかユーモラスです．やや肉食性にかたよった雑食性で，いわば川の掃除屋というところでしょう．上の写真の雌は卵を抱えています．テナガエビはモクズガニと同様，両側回遊をする甲殻類なのです．

手長蝦つれては暗き雨きたる 水原秋桜子

手長蝦は夏の季語．夕立に濡れながらも手長蝦を採り続けたい気持ちは，大人も子供も同じです．

2005年3月23日発行 発行者：町田吉彦（理学博士，高知大学理学部教授，
四国自然史科学研究センターセンター長）

本書の内容の無断複製を禁止します．複製ならびに内容についての問い合わせはFAX 088-844-8310（町田研究室直通）でお願いします．